

2023年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
応用演技Ⅱ											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	40	単位	1
担当教員	オーハシヨースケ			実務 経験	有	職種	俳優・演出・演劇教育家				
担当教員紹介											
国際交流基金フェローシップでベルギーに、文化庁でイギリスに留学。1985年にモリムラルミコとTAICHI-KIKAKU設立し「身体詩」という新しい「劇」分野を切り開き世界24カ国100回の海外公演に主演。カイロ国際実験演劇祭BEST ACTOR AWARD受賞。著書「立ち位置の法則」（かんき出版）など。											
授業概要											
インボディメント・エクササイズ ～身体性を深めるカラダ作り～ インボディメント(EMBODIMENT)の視点、すなわち心とカラダを一つに捉える視点から ドラマする力、演劇性を深かめる身体を練り上げるカラダ作りをする。											
到達目標											
相手を受け取る、言葉やイメージを受け取とれるカラダの感受能力をプロとしての俳優・声優、身体表現者の域に高める。 想いをリアルに身体で表現できる、象徴的な身体表現ができ声と動きとキャラクターを一体的に表現できる、ドラマを創る プロとしてのカラダのしなやかさと強度を身を高める											
授業方法											
毎回基本フィジカルトレーニングとして、3つのムーブ、3つのほぐし、言葉の体操(アハメーション)を実施。 カラダ＝ココロの原則に則り、各回一つのテーマに沿ったEMBODIMENTエクササイズを実施する。											
成績評価方法											
授業での積極性、こちらが出す課題への適格なプレゼンテーション、エチュードの表現力等を採点していく。 また、振り返りとしてレポートを提出してもらい、採点をする。											
履修上の注意											
フロアシューズなど上履き、ジャージ等体操着を着用。アリーナを他学科と共同使用なので使用上のルールを守る。											
教科書教材											
ベーシックテキストを使用。必要に応じて印刷物を配布。											
回数	授業計画										
第1回	立つと倒れる～自分の重心を知る～重量を感じる グループ課題を出して、グループでフィジカルシアター：グループで滝を表現										
第2回	受ける・感受するとゆだねる： 重力を感受する相手を受ける～後ろ倒れ～ 昆布と波 グループ課題を出して、グループでフィジカルシアター：グループで風を表現										
第3回	脱力と歩く： 3つの動き、3つのほぐし、ストレッチ、 グループ課題を出して、グループでフィジカルシアター：グループで一匹、怪獣を創る										
第4回	感情、情動、体性感覚と身体性：感情とからだ グループ課題を出して、グループでフィジカルシアター：カラダのマスクで創るオムニバーストーリーⅠ										
第5回	声を身体化する：オイリュトミーの身体性。動物発声、動きとカラダ、 グループ課題を出して、グループでフィジカルシアター：不思議な動物園パレード										

2023年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
応用演技Ⅱ	
第6回	戯曲の示す二つの世界観を身体性で表現① I エルコスの祈り 人間とAIロボット 戯曲をカラダで読む
第7回	戯曲の示す二つの世界観を身体性で表現② I エルコスの祈り 人間とAIロボット 戯曲をカラダで読む
第8回	戯曲の示す二つの世界観を身体性で表現③ II 欲望という名の電車・二つのアメリカ 世界観 出来事 キャラクター
第9回	戯曲の示す二つの世界観を身体性で表現④ II 欲望という名の電車・二つのアメリカ 世界観 出来事 キャラクター
第10回	押す引く： パントマイムの壁押し、気のボール 、グループ課題を出して、フィジカルシアター：遊園地の風景
第11回	アンサンブルと身体性：すり足で出会いと別れ～仕掛け開き 戯曲の示す二つの世界観を身体性で表現 ② あの世とこの世
第12回	キャラクターと身体性：椅子物語 7つのイスに坐る7つのキャラクターをフィジカルで表現
第13回	キャラクターと身体性：椅子物語 7つのキャラクターの物語を身体的に構成する
第14回	カラダのマスクで創るオムニバスストーリー
第15回	不思議な動物園パレード